

政策シート

(政策名) 秘書・表彰業務の推進
(予算費目名) 秘書管理費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

10年後の目標

- ・ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ・ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 人的・制度的運用の推進による都市経営の基盤づくり

◇政策の概要

市民と市長、副市長との相互理解を進め、意思を共有することにより、市民本位の市政を実現する。市長からの特命事項に対し、組織にとらわれない機動的な政策立案・調整を迅速かつ的確に行うなど、政策面において市長を補佐することで市長のトップマネジメントを強化する。

◇関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	45,110	44,604				
決算	38,526					
人件費(A)	77,000	70,000				
報酬(B)	31	62				
年間経費(予算又は決算+A+B)	115,557	114,666				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市制記念日認知度(%)	率	目標	57	57	58	58	59	60
		実績	40.3					
市歌認知度(%)	率	目標	46	46	47	48	49	50
		実績	41.4					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

市民と市長、副市長との相互理解を進め、意思を共有することにより、市民本位の市政を実現する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

・市長、副市長のトップマネジメント機能を発揮するための秘書業務を遂行するとともに、市長、副市長が出席する会議等に積極的に参加し、政策の決定や市政運営の推進に際し、判断の円滑化に貢献することができた。
・令和元年度の市制記念式典では、ラグビーワールドカップ日本大会が開催されることに合わせて、清宮克幸氏、伊藤剛臣氏によるトークショーを開催し、多くの市民にご来場いただいた。今後も市歌の周知を含め、認知度向上を意識しながら改善を図っていく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	市長・副市長秘書管理事業			○		71,456	29,394	6.0				62
2	市制記念式典開催事業			○		12,210	5,210	1.0				
3	政策調整事業			○		31,000	10,000	3.0				
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						114,666	44,604	10.0				62

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 市長・副市長秘書管理事業

◇事業目的・事業対象

市政を円滑に運営するため、市長・副市長の市内外の行動に伴う秘書業務を遂行するとともに、政策全般について情報の収集をするため各種市長会事業への参画や要望活動について必要なサポートを行う。

◇事業の概要

- ・市長、副市長の市内外の行動に伴う秘書管理業務を行う。
- ・市の政策全般について情報収集を行い市長及び副市長のスケジュールに反映させる。
- ・各種市長会、G1サミット及びプラチナ懇談会などへの積極的参加に努め、市政の発展に繋げる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	-	一般会計	-	-	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	31,029	29,394				
	決算	27,007					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	27,007	29,394				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)		31	62				
人件費 (千円)		42,000	42,000				
人工	正規	6.0	6.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・市長、副市長の市内外の行動に伴う秘書管理業務を行う。
- ・市の政策全般について情報収集を行い市長及び副市長のスケジュールに反映させる。
- ・各種市長会、G1サミット及びブラチナ懇談会などへの積極的参加に努め、市政の発展に繋げる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・市長、副市長のトップマネジメント機能を発揮するための秘書業務が遂行できた。
- ・市長、副市長が出席する会議等に積極的に参加し、政策の決定や市政運営の推進に際し、判断の円滑化に貢献することができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市長表敬訪問等で贈呈する記念品の購入経費や交際費の見直しを行い、経費の削減に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策の実現に向けて市長副市長の秘書管理業務は必要不可欠である。今後も引き続き見直しを図りながら、事業を推進していく。

事業シート (事業名) 市制記念式典開催事業

◇事業目的・事業対象

これからの市の発展を願い、市勢に功労のあった方に謝意を表し、その功績を称え、市の誕生を祝う式典を実施することで浜松市民の一体感の醸成を図る。

◇事業の概要

・市制記念日は浜松市が誕生した日であることから、浜松市の歴史を振り返るとともに、未来の浜松を考える日としていく。
・同日開催の市制記念式典の中では市民団体による活動発表や、地域の伝統文化などの魅力発信をしていく中で郷土愛の醸成を図るものとする。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
M44	-	一般会計	-	-	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,081	5,210				
	決算	3,465					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,465	5,210				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		7,000	7,000				
人工	正規	1.0	1.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
市制記念日認知度(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	57	57	57	58	58	59	60
実績値	48.5	40.3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
市歌認知度(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	44	46	46	47	48	49	50
実績値	45	41.4					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・市制記念日は浜松市が誕生した日であることから、浜松市の歴史を振り返るとともに、未来の浜松を考える日としていく。
- ・同日開催の市制記念式典の中では地域の伝統文化などの魅力発信をしていく中で郷土愛の醸成を図るものとする。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・市制記念日については、市制記念事業の中で多くの市民に参加いただき、市制記念日を周知するとともに、郷土愛の醸成や、市の政策を助長する等の企画検討を行っている。令和元年度はラグビーワールドカップ日本大会が開催されることに合わせて、清宮克幸氏、伊藤剛臣氏によるトークショーを開催し、多くの市民にご来場いただいた。今後も認知度向上を意識しながら、市制記念日の周知、広報の方法や記念事業の内容について改善を図っていく。
- ・市歌については、平成27年6月から開始したカラオケ配信の活用を含め、地域や世代等のターゲットを明確にした施策を検討していく。また、市歌を学校行事等を通じて知った人が多いと思われるため、今後、さらに認知度が上がっていくものとする。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度から、市制記念式典の来場者を対象にアンケートを実施し、より魅力ある式典内容にするための情報収集を行っている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

市制記念日は浜松市が誕生した日であることから、浜松市の歴史を振り返るとともに、未来の浜松を考える日としていく。今後も市制記念日の認知度向上を意識しながら、市制記念日の周知、広報の方法や記念事業の内容について改善を図っていく。

市歌についても更なる認知度向上のための工夫を検討していく。

事業シート (事業名) 政策調整事業

◇事業目的・事業対象

特命事項に円滑かつ迅速に対応するため、関係部局が調査研究等に要する経費を措置する。

◇事業の概要

特命事項の事業化に向けた基礎的な調査や他自治体の研究、庁外関係機関との調整等を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H30	—	一般会計	—	—	—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	10,000	10,000				
	決算	8,054					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	8,054	10,000				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		28,000	21,000				
人工	正規	4.0	3.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1～R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

特命事項の事業化に向けた基礎的な調査や他自治体の研究、庁外関係機関との調整等を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

特命事項54件(新規31件、継続23件)について調査研究等を行った。うち21件についてはR2に事業化されるなど実施済となり、33件は来年度も引き続き調査研究等を行っていく。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

特命事項の事業化に向けた基礎的な調査や他自治体の研究、庁外関係機関との調整等を計画通り実施することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

所管部局と連携しながら本事業を有効に活用し、調査研究等を適宜実施することで、特命事項の具現化に向けて引き続き積極的に取り組む。